

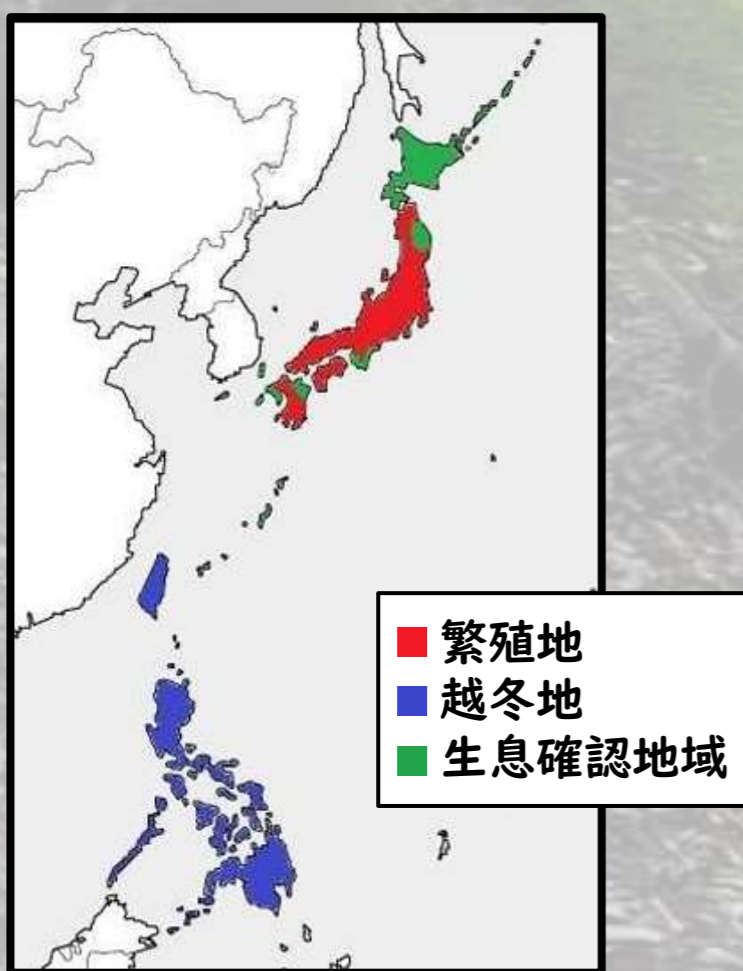
とり 鳥 bird

ミゾゴイ

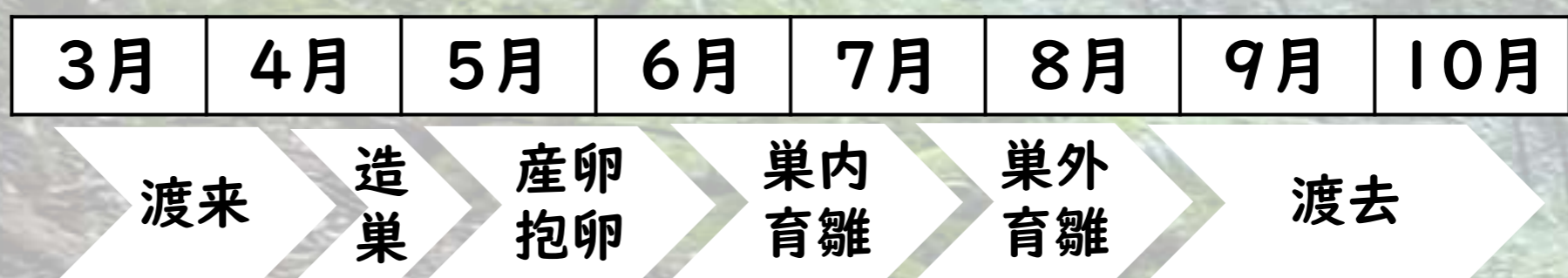


ペリカン目サギ科ミゾゴイ属
環境省レッドリスト
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

2年連続で撮影されました。
カタツムリ類やミミズ類などの土壌
生物やサワガニを主食としています。
餌を探している様子が撮影されました。



繁殖スケジュール



日本でしか繁殖しないミゾゴイは、以前は世界でも
1000羽以下ではないかと言われることもありました。
近年では、もう少し多いのでは?とも言われます。

しかし、変わらず絶滅が危惧されています。
そんな鳥がこんな身近にいるなんて!と驚きました。

環境省, 2016, ミゾゴイの保護の進め方より引用
<https://www.env.go.jp/content/900506754.pdf>

ホンドフクロウ



京都府レッドデー
タブック
準絶滅危惧種

日没後にひょっこり
写ります。

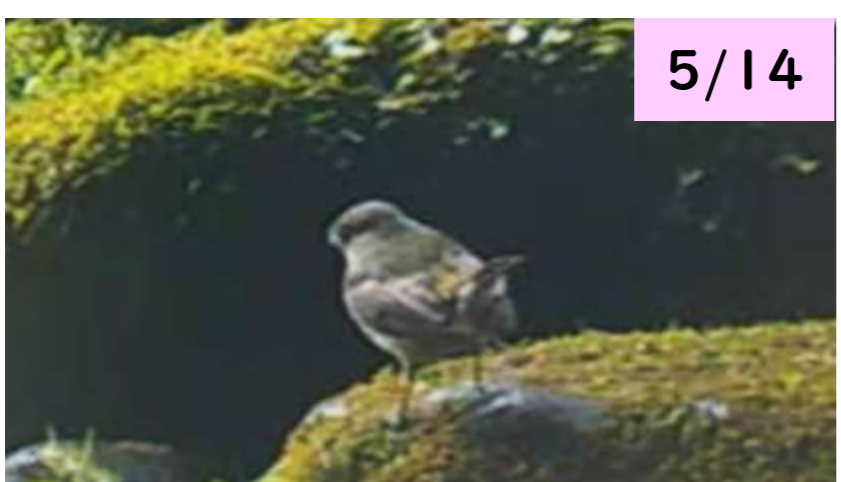
トラツグミ



京都府レッド
データブック
準絶滅危惧種

斑状の模様が特徴。
土中のミミズや昆虫
類などを食べます。

ミソサザイ



2023年に初
めて撮影。
尾羽が上がっ
ているのが特
徴です。

クロジ



京都府レッド
データブック
絶滅危惧種

低木やササ類の
茂った林で繁殖し
ます。シカによる
下層植生消失の
影響が心配です。

とりの季節性 きせつせい

鳥たちには、それぞれの生活史戦略があり、1年中同じ地域にいる種もいれば、時期によって住む場所を変える種もいます。

- ・夏鳥：夏に訪れる種
- ・冬鳥：冬に訪れる種
- ・漂鳥：日本国内（比較的近距离）で季節移動する種
- ・留鳥：1年中同じ地域にいる種
- ・旅鳥：渡りの途中で訪れる種



がいらいしゅ

外来種

invasive species

アライグマ



食肉目アライグマ科アライグマ属

特定外来生物で、本来は北アメリカ大陸に住んでいます。

水辺で餌を探している?ような行動が写っていました。(左上写真)

アライグマは、京都の寺社仏閣の屋根裏への侵入なども大きな問題になっています(ハクビシンも同様)。

ハクビシン

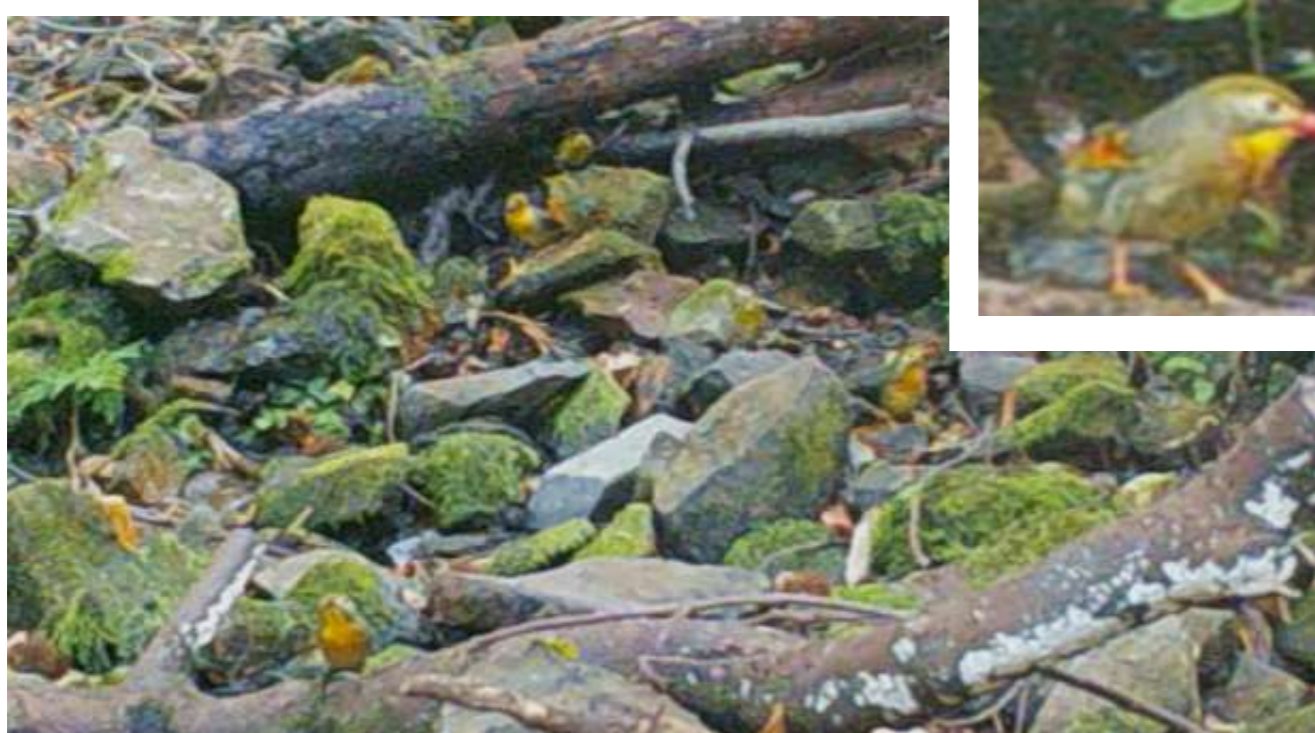


食肉目ジャコウネコ科ハクビシン属

DNA分析の結果から、日本のハクビシンは台湾から持ち込まれたと言われています。

水辺で餌を食べている様子も確認されました。

ソウシチョウ



スズメ目チメドリ科 *Leiothrix* 属

特定外来生物で、本来は中国やベトナム、インドなどに生息している鳥ですが、古くから日本で飼われてきました。

メジロなどと一緒に群れて撮影されることが多いです。2021年には頻繁に撮影されました。

おもしろ写真

だれでしょう？



先端だけ黒いのがタヌキ
しましなののがアライグマ。
赤外線カメラでも、とても
わかりやすい！

カメラにせまりくる イノシシ

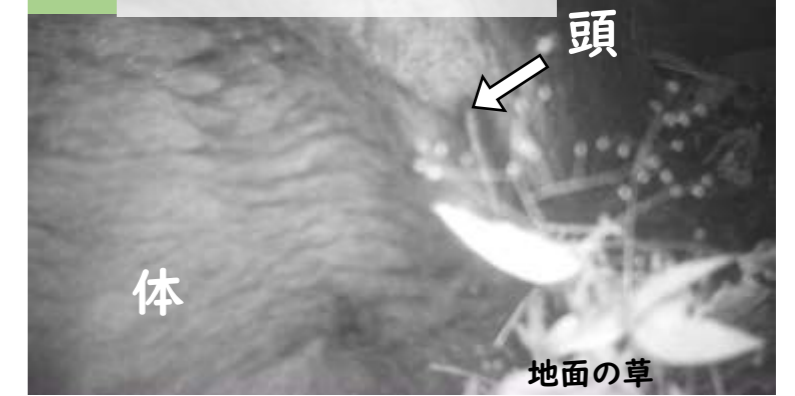
1 おやこ？でちかづく



2 まずは母がかたむけ、、、



3 子がたおす。



4 足しか見えなくなっちゃった！



調査にハプニングはつきもの！
カメラが倒されたり、
電池が切れたり、壊れたり。。。
それでもめげずに継続中！

シカのせなかにカラス

ちかいちかい



ホンシュウジカは時々
カメラに鼻先を近づけます。



なんででしょう？
この親子のシカはカラス
に乗られても気にしない
様子でした。

よーいどん



トレイルカメラにはニホンリスが走る姿も写ります。

さいごに

身近な動物に少しでも興味を持っていただけただけでしょう
か？ 京都市周辺の森には、動物たちの日常が確かに
存在します。もし森へ足を運んだ時には、鳥の声に
耳を傾けながら、哺乳類の生活の痕跡を探してみてください。
今後も調査を続けるとともに、動物たちの暮らしを
支える大切な地域の森で、動物とのよりよい共存
の形を探していきたいと思えます。